

2019 vol.57

UR

UR都市機構の情報誌 [ユーアールプレス]

PRESS

特集 新たな始まりへ

復興するまちを訪ねて



Special Interview

きちんと言葉にして
形にできる役者に。
葛藤しつつ成長したい

俳優

高良健吾 さん



01 暮らしのカケラ⑩ 「その変化はさみしくない」 角田光代

03 Special Interview 未来を照らす⑩

高良健吾さん 俳優

きちんと言葉にして形にできる役者に。葛藤しつつ成長したい



07 特集

新たな始まりへ 復興するまちを訪ねて

09 宮城県気仙沼市 気仙沼大橋が開通し安全なまちの完成まで、あとひと息

11 岩手県宮古市 安心・安全で暮らしやすいまち。環状交差点「ラウンドアバウト」がシンボルに

13 福島県大熊町 完成した役場とともに人々が戻り新たなまちの一步が始まる

15 熊本県宇城市 庭を通して人々が心地よくつながる復興住宅が完成

17 三陸鉄道リアス線で旅しよう!

19 URが取り組む東日本大震災の復興支援 復興支援MAP2019

21 「東日本大震災 復興の歩みフォト&スケッチ展」5周年

23 楽しい団地

グリーンヒル寺田(東京都八王子市) ゆるやかにつながる「場」が人々を元気にする 豊明団地(愛知県豊明市) 大学生が団地に住んで、多世代交流が花開く

27 おいしい団地④ 保土ヶ谷駅前ハイツ「ふらんすやま 保土ヶ谷店」(神奈川県)

グリーンヒル寺田「88 Bakery」(東京都)

森ノ宮第2団地「創作Dining きらり」(大阪府)

29 URのまちづくり最前線① 安満遺跡公園 防災公園街区整備事業(大阪府高槻市)

遺跡の上に広がる緑のはらっぱ 市民待望の公園が誕生する

31 URのまち あのまち・このまち・歩いてみよう! その⑩

亀有駅周辺(東京都)



33 届け!笑顔① AKB48 「誰かのために」プロジェクト 東北復興支援

山田町、石巻市、大槌町、南相馬市

35 ベランダで楽しむ 四季の寄せ植え④ 黒田健太郎

ナチュラルに花も香りも楽しめるハーブの寄せ植え



36 防災グッズの新常識④ 高荷智也

けがをしない事前の対策と救助を呼ぶ準備が肝要

36 男子弁当のススメ!⑫ 相田幸二 塩豚カルビ弁当

37 プレゼント付きクロスワードパズル

38 UR INFORMATION

季刊「UR PRESS」Vol.57

2019年4月30日発行

発行 独立行政法人都市再生機構 〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー Tel 045-650-0882 Fax 045-650-0889

制作 新潮社、編集室りっか デザイン 太田デザイン事務所 印刷 大日本印刷 ※本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断転載を禁じます。 ※本文中の肩書きは取材時のものです。

表紙の世界

朝市、蚤の市、フリーマーケット、青空市場は、物を買うだけでなく、雑踏のざわめきや人とのやりとりから元気をもらえる場所ですね。

イラストレーション 小林マキ



角田光代

暮らしのカケラ

8

その変化はさみしくない

町

と親しくなるのは至難の業だ、と私は思っている。正確にいえば、町と、「私が思うように」親しくなるのは至難の業だ。たとえば私はバンコクが好きだ。九〇年代に幾度か通い、あの複雑な路線バスをなんとか乗りこなし、歩き、町の成り立ちを理解したつもりだった。私に旅の予定がないのに友人がバンコクにいつてきたと言うとおかしな話だが、嫉妬でじりじりした。ほとんど恋だ。

六、七年疎遠にして、ひさしぶりに訪れたバンコクは、まるきり違う町になっていった。近未来にきたみたいだった。私は落胆し、「でも私は昔のあなたを知っている」と町に向かって、というより、自分に向かって言い続けた。そうしないと、町とまったくの無関係になってしまいうさだから。

本当にその町と(私が思うように)親しくするには、住むしかない。定期的に通うにしても、一カ月留守にしたらだけで、町が変わってしまうこともあり得る。町の変化についていけず、通うたびに知らない町に感じられるようだと、やはり、私は猛烈なさみしさを覚える。

東

日本大震災で多大な被害を受けた三陸の町を、はじめて訪れたのは八年前、地震の起きた約一カ月後だ。津波でめちゃくちゃに破壊された町の、それ以前を知らないのに、どこを歩いてもかつてあった暮らしのざわめきやリズムが遠く伝わってきて、それがすべて失われたのだという事実には、私は何も考えることができなくなった。

それから定期的に三陸の町々を訪れることになった。久慈、田老、宮古、釜石、陸前高田、気仙沼、南三陸、女川、石巻。たいてい二泊三日で、広い東北の二つ、三つの町にいく。半年後、一年後に訪れると、町はほとんど変わっている。仮設だった商店街が、常設の大きな商店街になる。防潮堤ができあがっていく。地図に載っていない新しい道路ができて、新しい町ができる。知ったような気持ちになった町が、次に訪ねたときはまるで知らない町になっている。

三

陸の町々にかんしては、私はそれをさみしいと思わない。地震をきっかけにできた町との縁だから、それらの町を知っているとはとても言えない。知らないまま、私が勝手に近づいてい

ているだけだ。町は、そこで暮らす人々の暮らしを作り上げようと必死に変容していく。未来に向かって進み続けている。足を踏み入れるたびに、ここどこだっけ? 前にきたことがあったっけ? と思うとき、同時に、がんばればがんばれば、とも思っている。そしてときどき、半年前や一年前は変わってしまった景色のなかに、空の角度や日向と日陰の感じ、スピーカーから流れる音楽のものがなしさ、山々のシルエット、そんなささやかな不変、旅人にもなつかしいと思える何かを見つけたときに、私の思うように町と親しくなった錯覚を抱いて、うれしくなるのだ。

かくた・みつよ

作家。1967年、神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1990年「幸福な遊戯」で海燕新人文賞を受賞しデビュー。『対岸の彼女』(文藝春秋)での直木賞をはじめ著書・受賞多数。最新刊は「大好きな町に用がある」(スイッチ・パブリッシング)。



photo・T.Tetsuya

4月に公開された主演映画「多十郎殉愛記」が話題の俳優・高良健吾さん。役者としていま、最も脂がのっている一人です。巨匠・中島貞夫監督とのお仕事や、青春時代を過ごした熊本への熱い思いなど、じっくりお話を伺いました。



きちんと言葉にして
形にできる役者に。

葛藤しつつ 成長したい

高良健吾

さん 俳優

巨匠・中島貞夫監督の 20年ぶりの作品に主演

最新作の映画「多十郎殉愛記」

では、中島貞夫監督と一緒させていただきました。監督の20年ぶりの長編映画、しかも時代劇。自分としても楽しみでしたし、それに出られることがうれしかったですね。日本で俳優をしている者として、時代劇や殺陣を一から学べたことも、すごくラッキーでした。

中島監督との仕事は初めてでしたが、監督の一言ひとりに、いままでの人生経験や、映画に

懸けてきた人の重みがあるんです。たとえば「高良ちゃん、いいよ」という一言にしても、

その「いいよ」に多くのことが含まれていて、短くてもすごく豊かな言葉になる。それに対して僕が思ったり、感じるものがたくさんあるんです。これこそが、京都の東映でずっと監督をなさり、巨匠と呼ばれる方の現場なんだと感じました。

この映画では殺陣が見どころになっていますが、僕が演じる



多十郎の殺陣は、人を斬るためではなくて、愛する人や大切な人を守り、逃がすための、時間稼ぎの殺陣なんです。一振り、

一振りが、自分の逃げ道をつくるためだったり、大人数の敵を散らすためのもの。刀はすごく重いので、素早い殺陣などできるわけがないし、息が上がるから、竹の陰に隠れて疲れを癒やしたり、時間稼ぎをする。すべてがとてもリアルで、派手さはなく、むしろ泥臭い。そういうところにも監督はすごくこだわっていらして、京都の東映で長年やってきた方だからこそ思いつくアイデアなんだと感じました。殺陣に関しては、京都の「東映剣会」で学べたことが、すごく大きかったですね。「東映剣会」では、事前に本番でやることの練習ができないんです。現場で段取りを覚えたら、その何十分後には、もうカメラが回る。何十手あっても、そこで覚えなければいけないし、実際には6、7割しか覚えられない。斬る人は、斬る前に声を出すというルールがあるから、咄嗟に声が出るほうを向いて「どうやってくるんだっけ？ あ、こうだ！」と思いつながらやるのが本番だったりする。あれより怖いものって、たぶんないで



うと、かっこつけが多いんです(笑)。しかも女性も男の人に対して「男としてちゃんとかっこつけなさい！」っていうのがあって、そのパランスもいいんですよ。

すね。でも、その緊張感が画面に映って、命のやりとりに見えるんでしょね。これは本当に貴重な体験でした。

青春時代を過ごした熊本への郷土愛

京都東映での撮影は独特で、京都の撮影所もいいし、京都の人たちの地元愛がすごく強いのもよかったです。自分が住んでいる所が好きだというのは、いいですよ。

僕も青春時代を過ごした熊本には、特別な思いがあります。熊本のノリも好きだし、まちも好きだし、人も好き。熊本の人には独特のノリや優しき、強さがあるんですよ。男に関してい

熊本の人には郷

土愛の強い人が多いように感じます。それはなぜかという点、熊本は地産地消がちゃんとできている所だからではないかと思うんです。肉も魚も、米も野菜も果物も、全部地元でとれるし、しかもすごく質が高い。水なんか、蛇口をひねればおいしい地下水が出てくるんですから。考えてみたら、それってすごく贅沢ですよ。地元のを食べて生きてきたら、その土地のことが好きになるはずですよ。

それに、熊本の人は新しいもの好きというか、流行に敏感で、ファッションとか音楽に目覚めるのもみんなすごく早いですよ。僕も当時ファッションが大好きだったので、まちでタウン

思っています。食料や水を備蓄しておくとか、大切な人と会う場所を決めておくとか。万が一のときのパターンを考えて、頭に入れておけば、いざというときにパッと動けるはず。常日頃から、そういう心構えが大切なんだと思います。

もう一度、中島組で時代劇を演じたい

デビューして14年になります。が、節目ごとに転機となる作品に出会えたことは、すごくありがたいですね。昔は映画が好き

で、強いこだわりもありました。映画の何が好きかといったら：映画を作っている人が好きなのかもしれないですね。映画で学んだことがその人をつくっているし、自分の言葉になっている。自分もそこで育ててもらったと思っています。

そんな自分が大きく変わったのが、2011年のNHKの連続テレビ小説「おひさま」です。それまでの映画では、見た方の反応は撮影してから半年後や1年後になります。テレビは反応がリアルにすぐ返ってくるの

「多十郎殉愛記」

「木枯し紋次郎」「極道の妻たち」など数々の傑作を撮り続けてきた84歳の巨匠・中島貞夫監督が、20年の沈黙を破りメガホンをとった「多十郎殉愛記」。舞台は幕末の京都。主人公・多十郎を演じる高良健吾が見せる、クライマックスの30分にも及ぶ大立ち回りが圧巻。出演はほかに、多部未華子、木村了、寺島進など。4月12日より全国ロードショー。©「多十郎殉愛記」製作委員会



誌の人に声をかけていただいて、写真撮ってもらって、高校生スタッフになって。その編集長がいまの事務所を紹介してくれて、現在につながっています。熊本で育っていなかったら、たぶんこの仕事をしてなかったですね。

に驚きました。

僕がクランクインしたその日に東日本大震災が起こり、ワンカットだけ撮って撮影が中断、2週間後に再開しました。ドラマが戦後の復興の話だったこともあり、東北の方から感謝や激励などの反応がすごく多かったんです。自分たちがドラマの中で結婚したら、電報がたくさん届いたり。テレビってこういう力があるんだと感じました。

一昨年30歳を迎えました。30代になる前に、自分の中でこのままだと嫌だなと思うことがたくさんあって、自分なりにやってきたつもりでした。でも、いざ30歳になってみると、全然できていなくて。20代では若さと勢いで許されたこと、20代

熊本でおススメの観光地ですか？ 僕は阿蘇が好きですね。やまなみハイウェイは、ちょっと日本じゃないみたいで、ほんとうに気持ちいいですよ。風に揺れる緑もいいし、人の手が加わっていない大自然がある。あそこに行くと、エネルギーがチャージできる気がします。それでいて、そこから1時間くらいの熊本市内の繁華街では、金土の夜には昼間より人が多いんじゃないかっていうくらい、お祭りみたいなにぎやかさ。あのまじの様子を見ると、元気が出ますね。

2016年に地震が起きたときは、自分もまわりの人も、みんなボランティアに向かいました。現地ではすごく大変だろうに、明るく笑い合っている人がいるんです。県民性なのか、人を心配させたくないということなのかもしれないけど、それがすごいなと思えたし、とても格好良く見えましたね。

いまは熊本だけでなく、日本のどこでも大地震が起こる可能性があるわけで、それに対しては、備えることしかできないとだからやるべきことがたくさんあったと思うんです。表現でいえば、20代だったら無意識でやったことがOKになることもある。若いからこそ、それが逆に評価されることもあります。でも、それは不確かなもので、次は同じものができなかつたりするんですよ。

30代になると、勢いだけでは演じられません。常に自分で意識して、きちんと言葉にしたり、形にして演じるようになっていかなければいけないと思っています。これからやりたい役ですか？ これからやりたい役というのは、いまずぐにでもやりたいのは、時代劇です。中島監督は「多十郎殉愛記」が最後の長編とおっしゃっていますが、僕はきつと次があると思っています。そういう意味でも、ぜひもう1回、中島組でやってみたいですね。



こうち・けんじ
1987年生まれ、熊本県出身。
2006年「ハリウッドの夏」で映画デビュー後、近年の映画出演作に「月と雷」「いちごの王子さま」「万引き家族」待機作には「アンダー・ユア・ベッド」「葬式の名人」「カツベン!」「仮」などがある。また、NHK連続テレビ小説「おひさま」、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」などドラマでも活躍。

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマートフォンから高良健吾さんのインタビュー動画をご覧ください。(2019年7月末まで)



WEB UR PRESS

「UR PRESS」オンライン版で、パソコンやスマホからドローンで撮影した気仙沼の動画がご覧いただけます。



復興する
まちを
訪ねて

新たな始まりへ

特集

岩手県

盛岡市・宮古市

気仙沼市

宮城県

仙台市

福島県

福島市

大熊町

東日本大震災から8年。平成28年熊本地震から3年。
URは震災直後から一日も早い復興を目指し、現地で汗を流してきた。
復興が進む各地では、新たな始まりの一步が記され
まちのにぎわいが、少しずつ生まれている。

福田正紀=ドローン撮影 ※肩書き等は取材当時のものです。

3月に気仙沼大橋が開通し、復興事業が進む気仙沼市南気仙沼地区。



昨年11月、舗装工の前に、市が地元の皆さんを招いて「思い出プロジェクト」を実施。床版にチョークで落書きをして、思い出づくりをした。



上空から見た南気仙沼地区。右側の沿岸部には最新式の魚市場や観光施設を整備。ここからまっすぐ橋を渡って国道へと道が繋がった。



鮭が上ることもある大川に、新たに架けられた気仙沼大橋。奥に見えているのが、これまでの橋。

気仙沼大橋が開通し 安全なまちの完成まで、 あとひと息

宮城県 | 気仙沼市 Kesenuma

URが手がけた新たな橋の開通式が行われた気仙沼市。2017(平成29)年には、市内で整備した災害公営住宅がすべて完成し、URの復興事業は9割まで進んできた。



気仙沼大橋の開通式で、菅原 茂気仙沼市長をはじめ関係者がテープカット。

をいきかい、また、この橋を通して沿岸部を訪れる観光客が増えてまちがにぎやかになることを期待しています」

**新たなまちに
観光の種をまく**

URは気仙沼市の南気仙沼地区、鹿折地区の2つのエリアで被災地の復興土地区画整理事業を進めている。UR気仙沼復興支援事務所所長の久宮和彦は、橋が架かり、南気仙沼地区の復興事業の先が見えてきたと胸をなでおろす。

「橋の完成を待つて、橋のたもと付近の区画整理事業の造成工事を始めます。これで南気仙沼地区の面整備がさらに進み、1年後には土地の引き渡しをすべて終える予定です」

津波と大規模火災で壊滅的な被害にあった鹿折地区でも整備は順調に進み、今年の5月に土地の引き渡しが完了する。嵩上げされた42ヘクタールの土地の目の前に水産加工場が立

新たな橋が 安全な避難路になる

風の中にかすかに春の気配が感じられる3月1日。土地が嵩上げされ、新しいまちづくりが進む気仙沼市の南気仙沼地区で、URが他の整備とともに手がけてきた気仙沼大橋の架橋事業が完了、新たな気仙沼大橋の開通式が行われた。当地区を沿うように流れる大川に架けられた気仙沼大橋は、長さ105メートル。道路の幅はこれまでの12メートルから20メートルに広げられ、橋の左右にはそれぞれ4・5メートル幅の歩道が設けられた。



南気仙沼復興の会会長の吉田さんは、ふかひれの加工業を営んでいる。

式典に出席した南気仙沼復興の会会長の吉田久雄さんは、8年前の震災当時を思い出しながら、新たな橋を見つめていた。

「以前の橋は湾曲しているだけでなく、橋の手前が隧道すいどうになっていて見通しが悪かったです。津波

ち並び、その後ろにURが手がけた災害公営住宅（鹿折南住宅）や商店、戸建て住宅がつくられ、スーパーもオープン。URが手がけた災害公営住宅は気仙沼市内に全部で1033戸完成しており、新たなまちが機能しはじめています。

久宮は、気仙沼の復興事業は9割までできたと話す。

「市が事業を進めている内湾地区にも商業施設や交流施設などが完成間近で、大島に架かる気仙沼大島大橋も4月に開通。南気仙沼地区、鹿折地区とあわせ、気仙沼市

が押し寄せたとき、前が見通せないため車で橋を渡りきれずに、ここで犠牲になった方もいらっしゃいました。

新しい橋はまっすぐで先が見通せ、道路幅が広がりました。安全に避難できるようになり、感謝しています」

この橋は新たに完成する最新式の魚市場や観光施設のある海沿いエリアと、国道45号線をつなぐ。気仙沼市建設部都市計画課長の三浦永司さんは、「単なる橋の架け替えではない」と今回の事業の意義を語る。

「URさんが親身になって区画整理事業に取り組んでくださったおかげで、大きな問題もなく造成工事が進み、架橋工事も無事終わりました。市の一番の産業である水産業を盛り上げ、観光で訪れる人を増やしていくためにも、この橋は非常に重要です。近い将来、水産物を満載したトラックがこの橋



「水産業を中心に、気仙沼の観光を盛り上げたい」と話す気仙沼市の三浦課長。

全体の復興がかなり進んできたことを実感しています。土地と道路が整備され、人々の暮らしが取り戻されつつあります。気仙沼のにぎわいが戻るよう、私たちも協力しています」

次は観光で訪れて、見事な復興を確かめて歩きたい。



「南気仙沼地区の面整備を進めます」と話すURの久宮。



鹿折地区にもURによって錦大橋(写真)が架けられた。接続する道路の完成を待っている。



南気仙沼小学校の跡地に建てられた南郷住宅。入口には校門が残されている。



本州最東端の魚市場である宮古市魚市場がある出崎埠頭。タラやサンマをはじめ四季折々の魚の水揚げがある。



「おくまんさま」としてまちの人々に親しまれている熊野神社。1600年代からの記録が残る由緒ある神社で、現在の社殿は1852年に再建された。

右／新たなまちのシンボルとなったラウンドアバウト。信号機を必要としないため、渋滞を回避し、停車時でも円滑に通行できるなどの利点がある。

下／宮古市街地から景勝地の浄土ヶ浜へつながる幹線道路。道路右の海側は水産加工場などが並ぶ産業エリア、左側は商店などが建つエリアと区分されている。



安心・安全で暮らしやすいまち。環状交差点「ラウンドアバウト」がシンボルに

岩手県 宮古市 Miyako

天然の良港・宮古湾を擁する、鎌ヶ崎・光岸地区。この3月、約5年半にわたる土地区画整理事業が全て完了。

まちの人の声を活かした、安心・安全な新しいまちに生まれ変わった。

新しいまちをつくるにあたっては、住民の要望が大きく取り入れられた。そうした住民とUR、市との橋渡し役として奔走したのが、鎌ヶ崎区画整理審議会の古館昌三会長だ。

「私たちの願いは、まず防潮堤をつくること。そして、降水時に道路に水が溢れないように川幅を広くしてほしい。さらに、狭くて一方通行が多かった道路を使いやす

住民の声を活かした歴史を感じるまちに

移転先を整備してから住居を移していただくなど、段階的に工事をを行いました。無事に整備終了の日を迎えられたのも、住民の皆様のご協力があったからこそです」と、URで事業を担当した三上純一は工事の難しさを振り返る。最後の公園整備を終え、この3月には当地区での事業が完了。山本正徳宮古市長から「新たなまちづくりが進んだのは、URの豊富な知識や経験、ノウハウがあったからこそ」と感謝状が贈られた。

担当した三上純一は工事の難しさを振り返る。最後の公園整備を終え、この3月には当地区での事業が完了。山本正徳宮古市長から「新たなまちづくりが進んだのは、URの豊富な知識や経験、ノウハウがあったからこそ」と感謝状が贈られた。



3月14日、事業完了の報告を受け、山本正徳宮古市長(右)からUR岩手震災復興支援本部本部長の栗原徹(左)へと感謝状が贈呈された。

信号なし、渋滞なしの交差点をもつ幹線道路

4方向からの道路が交わる中心にあるドーナツ状の交差点を、くるくると回りながら車が通っていく。復興が進む宮古市鎌ヶ崎・光岸地区の新たなシンボルとなっているのが、「ラウンドアバウト」と呼ばれる環状交差点だ。ヨーロッパなどでよく見かけるこの交差点のメリットは、信号がなく、車が停車することがないため渋滞がおこらず、災害時などの停車でも交通を妨げないこと。交差点に入った車は一方通行でゆっくり回り、出会い頭の事故を防ぐ役目もある。岩手県では初という珍しさに、遠方から見に来る人もいるほどだ。

宮古湾に沿うように細長く伸びる鎌ヶ崎・光岸地区は、江戸時代には三陸の海産物の交易や海上交通の要衝として繁栄。戦後は、サンマ漁船が全国から集まる漁港として大いにぎわった歴史あるまちだ。東日本大震災からの復興に向けて、URは2012(平成24)年に宮古市と復興



UR宮古復興支援事務所の三上純一。ニュータウン建設などを歴任し、2017年4月に赴任。「通常から考えると2倍くらいのスピード感のある仕事で、大きなやりがいを感じました」

くしてほしいの3点でした」その要望を受け、曲がりくねっていた道路を直線にし、対面通行にして広い歩道もつけた。また細く曲がった河川を一部地中化や直線化して拡幅。その成果もあって、2016年に当地を襲った台風10号の被害も免れることができた。歴史あるまちの面影を残すための工夫も、至る所で見られる。「まちの守り神でもある熊野神社

「URの方々とは密に連絡をとり合い、細やかに対処していただきました。そのかいあって、私たちが希望したようなまちができました。新しい公園は遊具もあり、近隣の方々やお子さんもとても楽しみにしています。今後は、この新しいまちに、多くの人が帰ってきてくれればうれしいですね」と古館さん。生まれ変わったまちに、新たな歴史がまた1つずつ刻まれていく。



鎌ヶ崎区画整理審議会会長を務めた古館昌三さん(右)は、大正2年創業の鯛屋商店店主。震災後の2011年8月に店を再開。現在は息子の慶樹さん(左)、奥様の3人で店を切り盛りしている。

事業推進協力協定を締結。土地の高上げや道路、公園といった公共施設の整備改善など、安心・安全なまちの整備のために尽力してきた。新しいまちでは、まず宮古市の中心市街地と景勝地として有名な浄土ヶ浜をつなぐメイン道路を17メートルに拡幅。その目玉として設置されたのが、前述のラウンドアバウトだ。その道路を境にして、海側は水産加工場や保冷施設などの産業エリアに。陸側には商店や生活利便施設を配した商業エリアを整備。住宅は安全な山側へ集め、高台への避難路となる区画道路も設けるなど、暮らしやすさと防災の両面に配慮したまちに生まれ変わった。

「今回の工事では、山側などに残った家の方々の生活を維持しながら、全体の工事をいかに円滑に進めていくかが課題となりました。道路の拡幅などをするにも、先に



新しいまちに道路が整備されていく。

造成が進む大川原地区で建設が進む災害公営住宅。第一期は2LDK、3LDKを中心に50棟完成し、6月に入居が始まる。



大熊町の復興のシンボルともなる新しい町役場は、周囲との調和を意識した低層の建物で、役場の前には広場も造られる。

完成した役場とともに 人々が戻り 新たなまちの一步が始まる

福島県 | 大熊町 Okuma

避難指示区域だった大熊町に、復興の槌音が響いている。新しい町役場が完成し、災害公営住宅の入居も始まる。少しずつ新たなまちが姿を現わし始めた。

新庁舎の中には100人収容できる大熊ホールも入る。



はじめ交流施設、商業施設や宿泊温浴施設、福祉施設などを整備するエリアの土地の基盤整備を、町とともに進めてきた。取材に訪れた3月上旬、地元の木材を多用した新庁舎はそのシンブルな外観を現わし、災害公営住宅は最後の仕上げにかかっていた。周囲には新しい道路が造られ、その上を工事関係の車が行きかう。まさに復興の槌音が響いていた。

住民と一緒に まず役場を戻す

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故により、全町が避難指示区域となっていた福島県大熊町。復興のスタートは2017年9月、大川原地区の18・3ヘクタールで復興再生拠点市街地形成施設事業から始まった。URは大熊町の要請を受け、新しい役場庁舎や災害公営住宅を

新庁舎の完成まで、大熊町役場はいわき市、郡山市、会津若松市の3カ所に役場機能を分散した状態だった。

「大熊町は住民と一緒にまず役場を戻そう、そしてみんなが戻る場所をつくるんだ、という強い思いをお持ちでした。URの仕事は、その思いを実現するためのお手伝いです。土地の造成はもちろん、新庁舎の建設に関しても設計段階から工程、品質、コストにかかわ



「住民の皆さんが安心して戻れる環境が整うまで、もう少しです」とURの細谷。

る技術的な支援を行い、町のパートナーとして復興計画全体に携わっています」

URで事業計画を担当する細谷奎介がこう説明する。この区域は今春にも避難指示が解除される見通しで、町民待望の新庁舎は5月に業務を開始。そして6月には、災害公営住宅の入居も始まる。

最初に完成する町民向けの災害公営住宅50棟には、定員以上の応募があった。第二期として約40棟を来年度末に、さらに町民でなくとも入居できる福島再生賃貸住宅（集合戸住宅）も整備する。

「役場と住まいの完成が間近になり、少しずつですが、まちが生まれてきています。この後、商業施設



URの鈴木は「外部の人と町の人をつなぐ役割も果たしたい」と意気込む。

設などの整備が行われ、役場を中心にたくさんの方がここに帰り、にぎわいが生まれることを期待しています」と細谷は現場を見つめて力強く話す。

町職員とともに 大熊の未来を考える

URは大熊町のソフト面の支援にも積極的にかかわっている。担当の一人である鈴木亜耶乃は、町の若手職員有志が集まり、大熊町の将来を考える「ふるさと未来会議」の事務局となり、会議を支えている。だが、昨年4月に赴任した当初は、町の人にどのような話を聞けばいいのか分からず悩んだという。

「でも、そのうち地元の方がパベキューや餅つきなどに呼んでくださって、会話を重ねるうち、積極的に対話することが大事だと学びました。同じ目線に立ちながらさまざまな思いを受け止め、それをまとめていくのがURの役割なのかと考えています」

未来会議では、廃炉作業が終わる40年後のまちの姿を考えている。重点となる三つの柱があるとURの鈴木が説明する。



「町を離れた同級生たちが、再びここに来るきっかけをつくりたい」と大熊町の石田さん。

「一つは古民家再生を中心としたエリア全体のリノベーション。二つめは町のツーリズムを考えること。三つめは40年後の新たな町の産業をどうつくり上げていくかです」

未来会議の立ち上げメンバーの一人である大熊町役場企画調整課の石田祐一郎係長は、URのメンバーが入ることのメリットを、「これまでの役場の仕事では、外部の方と付き合うことがあまりなかった。URを介して外部の専門家などと接する機会が生まれたのは、よい刺激になります。広い視野や違う視点に気づくきっかけにもなりますね」と話す。

大熊町出身の石田さんは、「新しい役場にまたみんなが集まれば、新しい発想も浮かび、何か楽しいことができるのではないかと期待を寄せる。

町の思い、町民の思いをすくいあげながら、URの大熊町復興支援はまだまだ続く。

熊本県でのURの復興支援

URは「平成28年熊本地震」の発災後、いち早く熊本県に専門スタッフを送り、復旧を支援。被災地危険度判定などを行うとともに、被災者へ住戸を提供してきた。

現在は宇城市をはじめ御船町、嘉島町、益城町の合計12地区で453戸の災害公営住宅の整備と、益城町で復興土地区画整理事業の支援を進めている。

御船町

災害公営住宅を2地区に合計30戸建設



3月22日に行われた「古閑迫団地の竣工式」。木造戸建10戸が完成した。

嘉島町

災害公営住宅を4地区に合計54戸建設

嘉島町の荒木泰臣町長をUR理事長の中島が訪問。嘉島町の災害公営住宅は年内に完成予定。



益城町

災害公営住宅を4地区に合計322戸建設



広安西A工区と広安西B工区の建設工事着手に伴い、2月19日に安全祈願祭を行った。



左/和傘をモチーフにした柱が印象的な「みんなの家」で、設計を担当した、シーラカンスK&H(株)の工藤和美代表(右)から説明を受けるUR理事長の中島(左)。

下/「平成28年熊本地震」の一連の地震活動の震源となったのが宇城市。市の職員はさまざまな対応に追われたという。宇城市の吉田さん(左)と谷口さん(右)。「みんなの家」の畳スペースで。



右/集会所の前の「みんなの庭(広場)」は、ゆるやかなすり鉢状になっている。子どもたちが走りまわることも、お祭りやイベントの開催も可能。右手が住宅。

下/響原復興住宅竣工式ではテープカットのほか、地元の水晶太鼓「響」による演奏や、入居者への鍵の贈呈式などが行われた。



庭を通して 人々が心地よくつながる 復興住宅が完成

熊本県 | 宇城市 Uki

「平成28年熊本地震」から3年。URは熊本の1市3町と協定を結び、復興支援に力を注いでいる。この春、URが熊本で手がけた災害公営住宅の第1号となる響原復興住宅が完成し、竣工式が行われた。

地元産の木材を使った 南向きの明るい家

木の香りに包まれた「私の家」に、家庭菜園も可能な広さの「私の庭」、さらに同じエリアに、瀟洒な集会所「みんなの家」と、広々とした「みんなの庭」もある。宇城市豊野町に完成した響原復興住宅は、緑豊かなこの地に自然になじむ陽だまりのような空間だ。

3月16日の竣工式では宇城市の守田憲史市長が完成の喜びと関係者への感謝を伝え、UR理事長の



上/URの鈴木(右)と大平(左)。響原復興住宅の基本コンセプトは「団楽の住まい、団楽の庭」。周囲と自然に交流できる仕掛けがあちこちに施されている。

中島正弘が阪神・淡路大震災以来、各地の復興支援で積み重ねてきたURの経験を生かして住宅建設のお手伝いができたことへの感謝を言葉にした。

またUR熊本震災復興支援室の波多野晃が、響原復興住宅は「くまもとアートポリス事業」と連携して地元熊本産の木材をふんだんに使ったデザイン性の高い造りで、住民同士のコミュニケーションに配慮したことなどを説明した。

住宅は、木造長屋タイプで全20戸。全棟南向きで、南側に台所やリビング、玄関、北側に個室という災害公営住宅では珍しい間取りだ。リビングの外に設けた濡れ縁

と庭を介して、周囲の人とコミュニケーションが生まれやすくなっている。3年前の地震で自宅が崩れ、以来、仮設住宅で暮らしてきたという古川マサミさんは、入居予定の住宅を見学し、「明るくて、庭も広くてうれしいです」と微笑んだ。

熊本の地域特性に 合った住宅づくり

集会所「みんなの家」と、その前に広がる「みんなの庭」も響原復興住宅の特徴だ。

「隣接する市営住宅や特別養護老人ホームの方たちにもご利用いた

URの熊本震災復興支援室には鈴木を含め現在15名が在籍。東北での復興支援経験メンバーも多く、そのひとり大平 丈は、東北での経験を生かしつつ、こちらの地域特性に合った住宅建設を進めていると話す。

「高温多湿で西日が強く、日が長いという熊本の気候風土に合わせて、日よけや風通しの工夫をして

だき、地域の団楽の場になればとの思いで、外からもアプローチしやすい設計になっています」と災害公営住宅を担当する宇城市の吉田隆志さんは語る。同じく市の職員である谷口秀夫さんは、「設計段階では本当にできるか心配でしたが、立派な建物が完成して驚きました」と喜ぶ。市としては地震発生後、マンパワーが足りないなかで、URのメンバーに非常に助けられたという。それを受けて、担当したURの鈴木悠平は「被災された方々のために一日でも早くとの思いでやってきた」と応えた。



安心・安全に加え、高気密・高断熱でバリアフリーの木造住宅。南に広い造りで、風通しをよくする高窓がある。



連れ合いの順一さんと入居する古川マサミさん(左)。ご子息の幸吉さん(右)は「こんなに明るくてきれいなところに住めて、うらやましい」とこっぴり。

います。また、入居する方の年齢層やライフスタイルなどに合わせた住宅づくりを進めています」

農業従事者が多いこの響原は庭を広くとり、若い世代の入居が多く見込まれる市街地に立地する集合住宅は玄関にベビーカー置き場を設けるなどの配慮も。立地特性に合わせた災害公営住宅の建設が、今も熊本各地で進められている。



守田市長と手を組むUR理事長の中島。URは響原復興住宅の計画から設計、施工まで一括して担当した。宇城市の松橋町大野地区の災害公営住宅(27戸)もURで建設中。



見どころ!

オランダ島

山田湾に浮かぶ周囲約900mの無人島。通称はオランダ船「プレスケンス号」が漂着したこと由来し、正式名称は大島。山田湾漁港から漁船で約10分。夏場は海水浴場となる。

山田町でのURの復興支援

- 6地区の災害公営住宅(全208戸)はすべて完成し引き渡し済。
- 3地区の復興市街地整備事業のうち、大沢、織笠の2地区はすでに終了し、山田地区が進行中。



URが区画整理と防災集団移設を担当した高台の織笠地区。

大槌町でのURの復興支援

- 8地区の災害公営住宅(全243戸)はすべて完成し引き渡し済。
- 町方地区の復興市街地整備事業が進行中。



URが区画整理を担当し、津波復興拠点、防災集団移転として整備中の町方地区。

釜石市でのURの復興支援

- 3地区の災害公営住宅(151戸)はすべて完成し引き渡し済。
- 3地区の復興市街地整備事業のうち花露辺は完了、片岸、鶴住居が進行中。



整備された駅前エリアの愛称は「うのすまい・トモス」。復興のあかりを「灯す」と「共」「友」を重ねた。津波伝承施設や観光交流拠点もこの春にオープンした。

陸中山田駅



織笠駅



駅舎の屋根はオランダ島をモチーフにしたデザイン。海の透明感をイメージしてつくられた。

大槌駅



「大槌駅デザイン総選挙」で選ばれたデザインの駅舎は、ひょうたん島(蓬莱島)がモチーフ。

鶴住居駅



「ラグビーワールドカップ2019」の試合会場となる釜石鶴住居復興スタジアムの最寄り駅。駅舎は、ラグビーのスクラムをモチーフにした千鳥格子の開口部と、海の砂浜をイメージした。

心も体もほっこり 浜辺の料理宿 宝来館 (釜石市)

三陸の新鮮な海鮮を使った料理と、大槌湾を望む絶景と、三陸の新鮮な海の幸を使った料理、人情味あふれる女将さんの人柄で人気の宿。釜石鶴住居復興スタジアムまで徒歩圏内。
☎0193・28・2526 釜石市鶴住居町20地割93の18



オランダのザイスト市と姉妹都市協定を結んでいる山田町。新たなまちの拠点となる陸中山田駅のモチーフはオランダの風車。観光案内や復興の道のりを紹介するコーナーもある。



ランチはここで!

釜揚げ屋 (山田町)

地元岩手県産の小麦粉、隣接する宮古市重茂の昆布と山田産の煮干しを使ったダシをはじめ、厳選した地の素材を使ったうどんメニューが人気のお店。写真は地元の人イチ押しの「じゃがいもとエビのかき揚げうどん」。陸中山田駅から約1.5km。
☎0193・82・2173 山田町山田4の5の1



祝! 全線開通

三陸鉄道リアス線で旅しよう!

Sanriku Railway



東日本大震災で被災した宮古-釜石の鉄道がついに復旧、JRから三陸鉄道に移管されて、3月23日に開通した。これにより移動が格段に便利に! 宮古-釜石の駅のうち陸中山田、織笠、鶴住居、釜石の4エリアはURが整備を担当した。8年ぶりの鉄道の運行で盛り上がる沿線のまちを旅して復興を応援しよう。



宮古-釜石間の開通により、三陸鉄道はすでに運行している区間とあわせ久慈(久慈市)-盛(大船渡市)の163キロを結ぶ。第三セクターの鉄道では国内最長。

オススメ老舗料理屋 丸藤 (釜石市)

生うに丼にリアス井、磯井、イクラ井と三陸の幸をふんだんに使った丼の定食が人気の料理店。1階はテーブル席とカウンター、2階の座敷は要予約でセット料理のみ。昼、夜営業。釜石駅のすぐ近く。
☎0193・22・2035 釜石市大渡町2の1の7



見どころ!

ひょうたん島 (大槌町)

蓬莱島は通称「ひょうたん島」。井上ひさし原作のテレビ人形劇「ひょうこりひょうたん島」のモデルとされ、島内の神社には弁財天が祭られている。津波で大きな被害を受けたが、社殿は流されずに残った。



「ラグビーワールドカップJAPAN」は9月20日より開催

釜石鶴住居復興スタジアムでの試合日程

9月25日(水) 【フィジー VSウルグアイ】

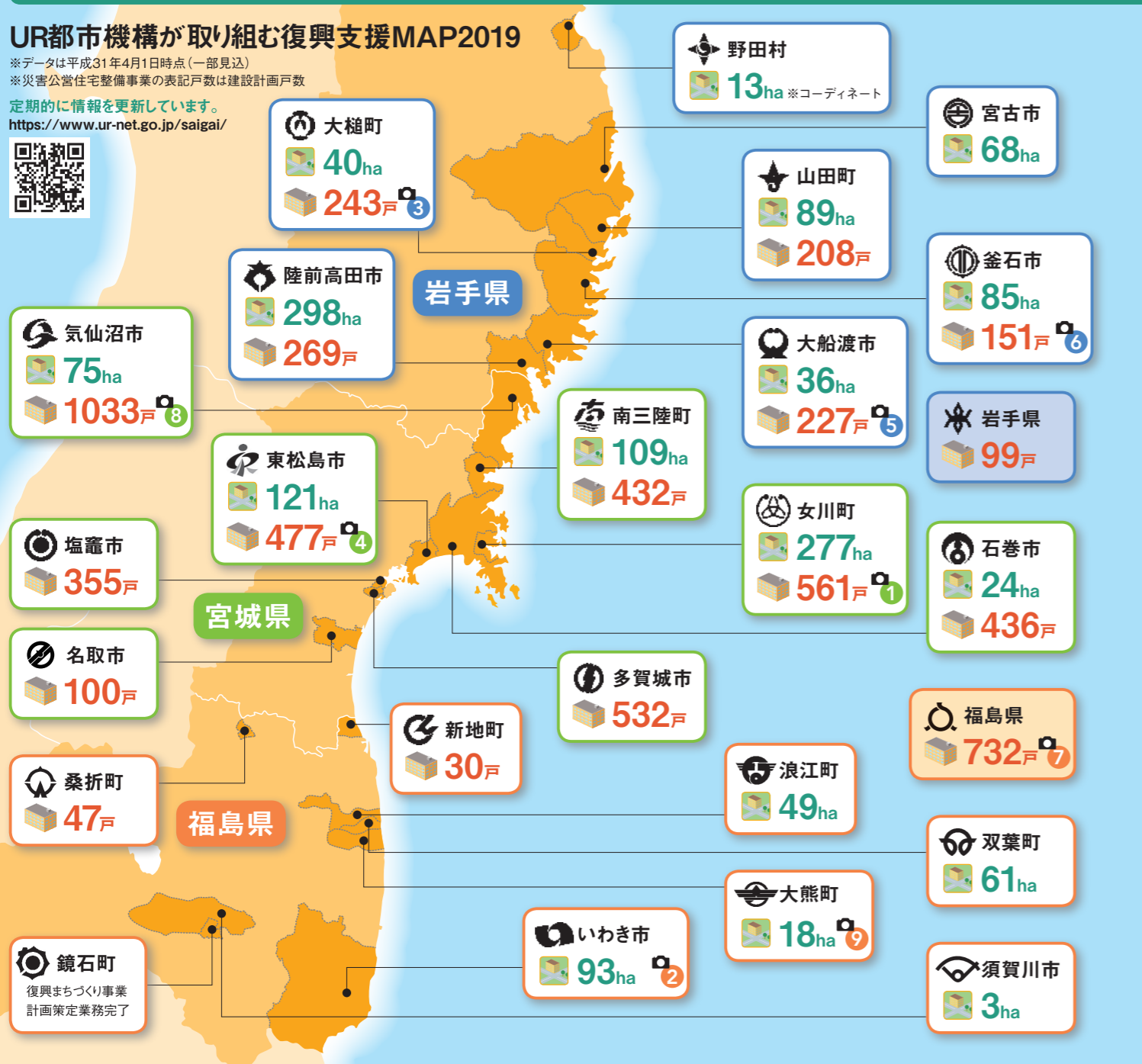
10月13日(日) 【ナミビアVSカナダ】

鶴住居駅近く(釜石駅からシャトルバスで15分)

小林マキ=イラスト、AREAi、竹居鉄也、UR=撮影

UR都市機構が取り組む復興支援MAP2019

※データは平成31年4月1日時点(一部見込)
 ※災害公営住宅整備事業の表記戸数は建設計画戸数
 定期的に情報を更新しています。
<https://www.ur-net.go.jp/saigai/>



生まれ変わったまち、暮らしを支える住宅

URが取り組む東日本大震災の復興支援

URは東日本大震災後、25の被災自治体と協定などを結び、最大時は約460人体制で復興市街地整備や災害公営住宅の建設を進めてきました。復興事業の進捗に伴い、現地では新たな生活が始まっています。また、原子力災害被災地域における支援も本格化しています。



1 宮城県女川町 女川駅前レンガみち周辺(女川町提供)



2 福島県いわき市 豊間地区



3 岩手県大槌町 御社地住宅



4 宮城県東松島市 野蒜ヶ丘住宅



5 岩手県大船渡町 大船渡駅周辺地区



7 福島県いわき市 勿来酒井団地



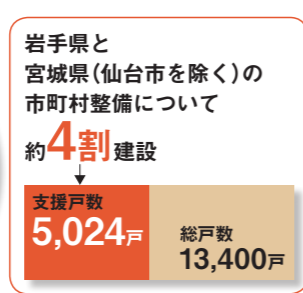
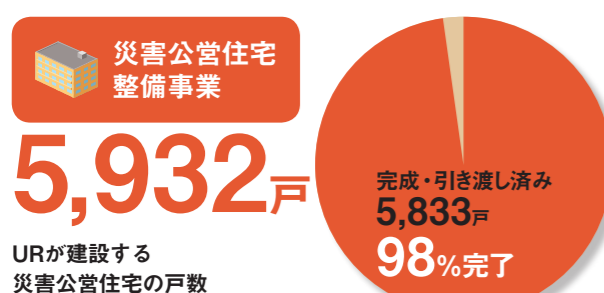
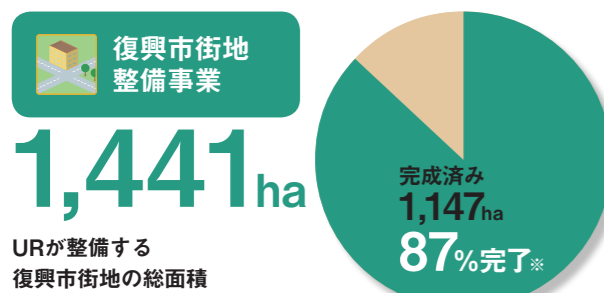
6 岩手県釜石市 鶴住居住宅



8 宮城県気仙沼市 気仙沼駅前住宅1・2号棟



9 福島県大熊町 大川原地区



災害に強いまちづくりを目指して

2018年12月、国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)とURは、双方の有する人材、研究開発等のリソースを活用し、連携・協力をする事で災害に強い社会の実現に貢献することを目的として、包括的な連携・協力協定を締結しました。URは全国約73万戸の賃貸住宅・1500以上の事業地区で、より一層「災害に強いまちづくり」を進め、防災についての知見を蓄えて、南海トラフ地震や首都直下地震で大きな被害が想定される地域のこれからのまちづくりに役立てていきます。



締結式で握手する防災科研の林春男理事長(右)とUR理事長の中島正弘(左)。

2016

★大賞(スケッチ)
「復興に流れる白滝～大槌風景～」
鈴木宣人さん(岩手県大槌町)

★大賞(フォト)
「記憶と記録」
岩崎 孝さん(宮城県松島町)



「僕らが頑張る」
柏館 健さん
(福島県いわき市)



「虹色の橋かかる」
遠藤正弘さん
(宮城県南三陸町)



「命の道に血が通う」
大谷桂太さん
(岩手県大船渡市)



「休日」
太田信子さん
(岩手県陸前高田市)



「鳥居の先に見える景色」
久保安加莉さん
(宮城県石巻市)



東日本大震災 復興の歩みフォト&スケッチ展 5周年

2014-2018 受賞作品から見る復興の歩みギャラリー

URが東日本大震災からの復興の歩みを広く発信し、一日も早い復興を支援するために2014年から開催してきた「東日本大震災 復興の歩みフォト&スケッチ展」。毎年、たくさんの魅力的な作品が寄せられています。5周年を記念して、これまでの受賞作品を一挙にご紹介します。作品を通して、5年にわたる東北の復興の様子をご覧ください。

*お名前の中の()内は撮影またはスケッチした場所です。
*「東日本大震災 復興の歩みフォト&スケッチ展」の入賞作品はHPでもご覧いただけます。
<https://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/index.html>

今年も開催予定。
決まり次第、
HPでご案内します。



2017

★大賞(スケッチ)
「共に歩む」
久保安加莉さん
(宮城県石巻市)

★大賞(フォト)「再会」三浦玲華さん(宮城県仙台市)



「一本まつとクレーン車」
菅原ゆいさん
(岩手県陸前高田市)



「市街地一望」
相原 徳さん
(宮城県仙台市)



「明日もまた「こゝで」」
日野 大さん(宮城県石巻市)



「7年目の航空祭」
相沢 開さん(宮城県東松島市)



「海の方を見て何を思う」
渡邊啄磨さん
(宮城県仙台市)



「7年ぶりの歓声」
遠藤清作さん
(福島県いわき市)



「蕾」
神武桜子さん
(宮城県気仙沼市)



「忘れられない味」
酒井崇光さん
(岩手県釜石市)



★大賞(フォト)
「家族」
石森文夫さん(福島県いわき市)

★大賞(スケッチ)
「復興の植音」
吉田征輝さん
(岩手県陸前高田市)



「福島の母の絵と私」
山内若菜さん
(神奈川県、福島県で取材)



「希望の花壇」
商家 訓さん
(宮城県気仙沼市)



「鎮魂と折り」
小澤房子さん
(岩手県大槌町)



2018

★大賞(スケッチ)
「復興記念大祭
～獅子舞と元気な祖母～」
浅野健仁さん(宮城県南三陸町)

★大賞(フォト)
「最盛期」
有田 勉さん(岩手県宮古市)



「家路」
村上 真さん
(岩手県陸前高田市)



「旧大槌町役場」
小野寺 浩さん
(岩手県大槌町)



「子供から見た復興」
岩城 徹雄さん
(岩手県宮古市)



「スターター」
澤口健治さん
(岩手県宮古市)



「野馬追近し」
高橋直裕さん
(福島県南相馬市)



「浦の浜防潮林」
高橋義章さん
(岩手県山田町)



「私たち元気です」
有田 勉さん
(岩手県宮古市)



2015

★大賞(フォト)
「復興への戦い」
遠藤清作さん(福島県いわき市)



「孫だくさん」
岡博 大さん
(宮城県気仙沼市)



「朝活の田んぼに映る空」
西村清江さん
(宮城県岩手県)



「さよならマリニピア」
橘川天知さん
(宮城県松島町)

★大賞(スケッチ)
「静かな夕暮れとそこにある生活」
浅野健仁さん
(宮城県南三陸町)



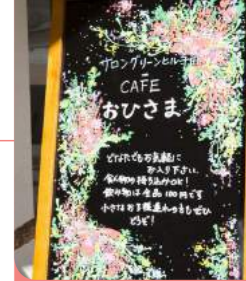


グリーンヒル寺田へはJR中央線・西八王子駅、または京王高尾線・めじろ台駅からバスで。広い敷地には549戸の住宅のほか池もある。

毎週、カフェの営業時間に体操教室や手芸の会が開かれている。この日の体操教室には20名が参加して体をほぐした。



「Cafeおひさま」の営業は月・火・木・金曜の11～16時。ドリンクは珈琲のほか、紅茶、ジュース、抹茶。絵本や折り紙など子どもが楽しめるものも用意されている。



DANCHI PICKS 楽しい 団地

グリーンヒル寺田 東京都八王子市

ゆるやかにつながる「場」が人々を元気にする

GREENHILL TERADA

扉を開けると、ふわっと珈琲の香りに包まれた。ここはURの団地「グリーンヒル寺田」の商店街にあるコミュニティスペース「グリーンヒルおひさま広場」。この日は住民による「Cafeおひさま」が営業中で、お客さんが来店するたびに、お店のスタッフと、またお客さん同士がなごやかに語り合う光景が繰り広げられていた。

2016（平成28）年に誕生したこの「おひさま広場」は、週4日は誰でも利用できる「Cafeおひさま」に。そのほか八王子市や近くにある法政大学の学生が主催する住民向けのイベントの会場などにも姿を変え、幅広く活用されている。月2回、金曜日の夕暮れどきのミュージック&カフェ「Friday After 5」も恒例だ。

幅広い世代が集い 活気あふれるカフェ

高尾山の山裾に位置する「グリーンヒル寺田」は環境がよくて暮らしやすいと長く住み続ける人が多いこともあり、高齢化が進んでいる。そこで数年前から、

宅からカップ＆ソーサーや花を持ち寄りたり、手作り品を飾ったりして息を吹き込み、現在のようなあたたかな雰囲気。この場ができて、生活さらには人生が大きく変わったという人もいる。カフェスタッフの岡野宣子さんは、この団地で暮らして35年。かつては子どもの声が響いてにぎやかだった団地も、子どもたちが自立して出ていき寂しくなったという。地域活性化のお手伝いができればとカフェのボランティアに参加した。

「嫌なことがあっても、ここに来ると気分が明るくなって元気になるんです。若い方のアイデアや行動力にも刺激を受けています」

その岡野さんが頼りにしている若手の山田久美子さんは、家族の転勤で関西からこの団地に移り住んで8年目。知り合いのいない土地で子育てをしながら、たまには外で珈琲を飲みたいと思っても、近くに飲める場所がなかった。珈琲マシンだけでも置いてもらえないかとスーパーなど数軒にお願いしたものの難しく、残念に思っていたときに、「Cafeおひさま」のオープン情報をキャッチ。ご近所付き合いも、ましてや地域活動に参加したことなどなかったそうだが、珈琲を淹れるボランティアならできるかも、と応募。そしてカフェに関わり、人生が180度転換したと微笑む。

URは法政大学と八王子市と三者協定を結び、地域の方々と共に「グリーンヒル寺田」のコミュニティ活性化に取り組んできた。何度かイベントを続けるなかで、住民の方々から、いつでも気軽に立ち寄れる場がほしいという要望があり、団地内の空き店舗だったスペースを改修。法政大学の学生たちによる壁塗りワークショップなどの協力も得て、コミュニティスペース「おひさま広場」が誕生した。運営の支援に尽力してきたURの清水真道は「幅広い世代が集い、学び、働き、安心して暮らしていける活気あふれるまちをつくることを目的に活動してきましたが、誰でも気軽に立ち寄れるスペースができたことで、皆さんの活動が広がり、とてもいい雰囲気になっています」と説明する。

カフェのスタッフは現在15名ほど。40〜80代で全員ボランティアだ。愛情たっぷりのハンドドリップ珈琲をはじめ飲み物は1杯100円。食べ物の持ち込みも自由で、何時間いても問題ない。オープン当初はマシンで淹れた珈琲を紙コップで提供していたそうだが、スタッフが自

に帰ったような感覚です。知らない人と話ができるし、何かあればすぐに相談できる。自然とご近所の方たちとも知り合いになって、一生ものの宝物のような出会いもありました。子どもたちも顔見知りの人が増えて見守ってもらえて、我が家にとってはプラスなことばかりです」

山田さんの小学生の娘さんは放課後、カフェに直行、高校生の息子さんも時々ボランティアで参加し、年配の方々にかわいがられているという。

「使わなくなったおもちゃを譲ったり、困っている人がいれば誰かが助けたり。誰も無理していないのに、気楽に、ゆるく、こんな関係が保てるなんて……」

数日来店のないお客さんがいれば、「〇〇さん、最近見ないけれど、どうしているかしら？」と元気よ、寒いから出てこないだけ」といった会話が自然に交わされる場。桜まつりや七夕、ハロウィンなどこの場合を会場にした住民主催のイベントも増えている。昨年のクリスマス会では住民の方々が演奏やマジックなど特技を披露。近隣の小学校の先生方など団地の枠を越えて老若男女100名以上が集まり、大いに盛り上がった。

カフェに集う方たちの笑顔やお話から「おひさま広場」がなくてはならない場になっていることが伝わってくる。団地コミュニティの理想のカタチを見た気がした。

「URさんのおかげで広場ができて元気になり、感謝しています」と話す森見子さん(左)はカフェの常連客で人気者。URの清水(右)への信頼も厚く、仲良しだ。



ハロウィンやクリスマスなど、自分たちでプログラムを企画したり飾りつけをしたり、若い人たちのパワーに触れられるのも楽しいと話す岡野さん。



「Cafeおひさま」と出会って人生が変わったという山田さん。「こういうふうになんか年を重ねたいと憧れる素敵な方がたくさんいて、宝物のような場所です」



日用品から新鮮食品までたくさんの商品を積んで毎週やってくるイトーヨーカドーの移動販売車「あんしんお届け便」。ここでの買い物を楽しみにしている人も多い。



妹尾和子=文、菅野健児=撮影



DANCHI PICKS **楽しい団地**

豊明団地 愛知県豊明市

TOYOAKE

大学生が団地に住んで、多世代交流が花開く



内覧会は2月と3月の2回行われ、その場で申し込みを受け付ける。大学生に提供される部屋は建物の4階か5階にあり、2DK、3DKの部屋が3万円台で借りられるとあって、人気が高い。

2月のある日曜日。豊明団地の一角にある「けやきテラス」の集会室に、100人近い親子連れが続々と集まってきた。団地への入居を希望する大学生に向けた、内覧会に参加するためだ。URは豊明団地を地域医療福祉拠点化する取り組みを進めている。これは住み慣れた地域で長く住み続けるために、さまざまなサービスや機能を団地に導入しようとするものだ。

そのために団地の近隣にある藤田医科大学、豊明市と相互に連携協定を締結。団地を舞台とする「けやきいきいきプロジェクト」と命名された一連の動きは、国が進める地域包括ケアシステムのモデルケースとして高く評価されている。まず2015年4月、団地店舗に「ふじたまちかど保健室」が開設された。ここで藤田医科大学の看護師や保健師、理学療法士などが健康相談を受け付ける。地域の人々に向けたさまざまなミニ講座も開催して、地域の健康の拠点となっている。

という試みも始まった。4年目となる今年3月、最初に入居した学生15人が卒業を迎え、ここを巣立っていくのにあわせ、15戸を新たに募集する。今日はその内覧会だった。

学生・職員に貸し出している部屋は全部で約80戸ある。地域活動への参加を条件に、近隣の相場と比べると割安な家賃で、2DKや3DKの部屋に住める。しかも大学まで歩いて行ける距離ということもあって、入居を希望する学生は年々増えている。ただし団地自治会が行う夏祭りや茶話会などのイベントを手伝うのははじめ、近隣の小学校の放課後教室で出張講座を開くなど、大学生は団地や地域の活動に年40時間以上参加することが義務付けられている。



団地の集会所だった建物を改修した「けやきテラス」には、コミュニティスペースだけでなく、医療介護サポートセンター、地域包括支援センター出張所と、在宅介護用ロボットの研究施設も併設されている。



「大学をはじめ豊明市、自治会ともいい関係が生まれている」と話すURの首藤。



上/部屋によっては抽選になることも多い。新入生だけでなく、在校生も入居できる。



大学とURの取り組みや入居条件などを熱心に聞く、学生と保護者たち。

団地住まいで成長する大学生たち

単身世帯が多いのが現状です。大学生が団地のイベントに参加して高齢の方や子どもたちとふれあうことが、団地に住む人々の刺激になって、団地ひいては地域全体の活性化につながることを期待しています」

実際に高齢者からは、「若い人とおしやりするだけで気持ち若返る」「力仕事を手伝ってもらって助かった」と好意的な反応が多い。

「私たちの大学は、卒業後、医療に従事する学生がほとんどです。彼らにとって団地に住む高齢者の話を直接聞き、彼らの暮らしがや不安などを知ることが、将来の仕事にとっても重要な意味をもつてくると思っています」

「ふじたまちかど保健室」で居住者の相談に応じる藤田医科大学講師の長谷川洋子さんはこう話す。

このプロジェクトを統括し、自身も団地に住む同大学講師の都築晃さんも、「団地に住む間に、学生たちはものすごく成長する」と感心する。

右/取り組みが始まって4年。藤田医科大学の都築さんは、「この団地で地域の人々と接することで、大学には気づかなかったことに気づくことができた」と話す。

下/豊明団地は築45年、約2000戸の団地で、公園やスーパーマーケットがあり、暮らしやすい。



「高齢者と自然に雑談ができるようになり、彼らの中に入っていきけるようになります。コミュニケーションスキルが格段に上がっています」



大学生たちの活動は団地外にも。近隣の小学生の学習支援や、高齢者の買い物支援なども行っている。



看護師と保健師の資格をもつ長谷川さん。団地が地域包括ケアの拠点になるよう活動を続けている。

88 Bakery



地元八王子の朝採りの新鮮な野菜も販売中！こちらも大人気だ。

東京都八王子市寺田町432
グリーンヒル寺田101-103
☎042-663-6800
◎10～18時 ㊟月・火・水曜

オーナーの兼田雅紀さんがこだわ天然酵母の焼きたて発酵パンはどれもおいしい。ファンが多い食パンに、甘いパンやおかずパンなど毎日、20種以上が順次焼き上がる。

毎日食べたくなる
天然酵母の焼きたてパン

東京・八王子市にある緑豊かな団地、グリーンヒル寺田の商店街に、2017年4月にオープンした「88 Bakery」。小さなパン屋さんなのだが、「毎日食べても飽きないパン！」と口コミで評判を呼び、団地にお住まいの方のなかには、毎朝通う常連もいるようだ。「あこ酵母という天然酵母を使っているのですが、この天然酵母は小麦のうまみを引き出す力があるんです」と説明してくれたのは、オーナーの兼田雅紀さん。一押しのおかずパン2種のうち、山食パンをいただくと、小麦の風味がやさしく口の中に広がり、ふわっとして、噛むともちっとして、とにかくおいしい！角食パンは、太白ごま油を使ったしっとりタイプだ。次々と焼き上がってくるおかずパンや甘いパンは、どれを買おうか迷ってしまうほど。

「商店街をにぎやかにしたいと思い、昨年12月にマルシェを開催しました。大勢の方が来てくださいました！」と兼田さん。焼きたてパンのパワーで商店街が活気づいている。

お店のドアと窓には「88 Bakery」の文字とかわいいイラストが描かれている。



ふらんすやま 保土ヶ谷店

ケーキやタルトなどが20種類以上。喫茶スペースでは、軽食もいただける。フレーバーティーやハーブティーも揃う。



「横濱散歩道」シリーズの焼き菓子は人気だ。

オープン以来37年
愛され続ける洋菓子店

「この保土ヶ谷駅前ハイツ(1号館)ができた1982(昭和57)年に、縁があって2号店(保土ヶ谷店)として出店しました。それ以来、変わらずここで営業しているのはうちだけです」と当時の話をしてくれたのは、老舗洋菓子店「ふらんすやま」創業者で会長の古屋幸雄さん。

大きなショーケースにはショートケーキやダブルチーズケーキ、モンブランなどが並び、季節のフルーツをふんだんに使ったケーキやタルトも人気だ。おいしいケーキとともにティータイムを過ごすことができる喫茶スペースは、近隣の人々の憩いの場になっている。「焼き菓子」にもこだわり、手土産にぴったりな「横濱散歩道」シリーズは、マドレーヌには「権太坂」、カフェパイには「保土ヶ谷宿で一休み」など、それぞれ横浜の地名や名所がネーミングされていて楽しい。「地元の皆さんに愛され続ける洋菓子店として、地域の活性化にも貢献したい」という思いが伝わってくる。

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町123-2
保土ヶ谷駅前ハイツ1-1F
☎045-715-1706 ◎10～21時 ㊟なし

阿部民子・石井克美=文、菅野健児=撮影

創作Dining きらり



下/明るくきつぷのいいオーナーの阿部未幸さん。元は林業の伐採をやっていたというだけに、店内には大きな木のオブジェや一枚板のテーブルが並ぶ。



大阪府大阪市城東区森之宮2-1-10
☎06-6962-1022
◎11時～13時30分(なくなり次第終了)
18時～22時(土曜日は夜のみ営業)
㊟日曜・祝日(不定休あり)

黒を基調としたシックな店内。厨房に面した長いカウンターとテーブル席が3つ、奥には落ち着ける個室もある。

お腹もお財布も喜ぶ
ボリュームランチが自慢

「団地を明るく盛り上げたい」とオープンして今年で5年。店内に入ると、長い木のカウンターの上に日替わりのお惣菜がズラリと並び、食欲をそそる。団地にお住まいの方や近所のビジネスマンに大人気なのが、ボリューム満点のランチ。鶏の唐揚げや牛肉のハラミ焼肉、日替わりなど定食が5種。「お客さんにお腹いっぱいになってもらいたい」というオーナー阿部未幸さんの心意気で、から揚げは鶏のもも肉1羽分を使い、ご飯はお代わり自由という気前のよさだ。

夜は気軽に飲める居酒屋に变身。唐揚げやお造りに加えて、「お客さんの食べたいものをリクエストに応じて作る」というスタイルで、常連さんも多いという。「大阪の下町出身なので、お客さんとコミュニケーションがとれる店にしたかった。店にいるときは、料理を作りながらお客さんとおしゃべりしています」という阿部さんの言葉通り、お客さんの笑い声が絶えない店だ。

森之宮第2団地入口に店を構える「創作Dining きらり」。近隣のビジネスマンや団地に住む高齢者、独身者のご飯処としても人気。



隠れた名店
見つけた！
おいしい
おいしい
団地 3

団地の外からもお客さんがやってくる。人気を誇る名店がある。そんなお店を訪ねて、団地に足を運んでみませんか？



上/「その時代時代に求められているケーキや焼き菓子を作り続けています」と、古屋幸雄さん(81歳)。今も現役だ。下/昨年リニューアルオープンした店内。左奥は喫茶スペースになっている。



保土ヶ谷駅の東口を出て歩道橋を渡ってすぐ。





メインエントランス近くには、レストラン&カフェもオープン。



水田跡で見つかった弥生人の足跡が、園内のあちこちに。



この公園は高槻市の広域避難地。写真は入口付近に設置されたソーラー照明。



3月23日にオープンしたパークセンターエリア。「人工芝の広場で親子が川の字になって寝転んでいるのを見て、本当にうれしくなりました」と服部もにんまり。



事業のスタートからかかわっている高槻市の藤井さん(左)と、URの服部。



公園は阪急高槻市駅から徒歩10分、JRの高槻駅から近く、まさに高槻市のセントラルパークといえる立地にある。



URの
まちづくり
最前線 11

安満遺跡公園 防災公園街区整備事業 大阪府高槻市

遺跡の上に広がる緑のはらっぱ 市民待望の公園が誕生する

弥生時代の遺跡が眠る高槻市の中心地。長く大学の農場として使われていた広大な土地が、防災公園として生まれ変わり、市民に喜ばれている。

約

2500年前の弥生時代に開かれた環濠集落跡を含む遺跡が、大阪府高槻市にある安満遺跡だ。広さは約72ヘクタール。濠をめぐらした居住地と水田、墓域が一緒に見つかったことが大変貴重で、数多くの土器や石器、木簡なども発掘され、国の史跡に指定されている。

だが、この安満遺跡はこれまで、広く知られてはいなかった。この遺跡の上には約90年にわたり、京都大学の農場があったからだ。

農場の広さは約16ヘクタール。JRと阪急電鉄に挟まれた区域一帯に広がっていた。しかし、大学側ではこれ以上の拡張ができないこと、研究の高度化への対応が困難などの理由から、農場の移転を考えていた。それが10年ほど前のことだ。ちょうどその頃、URで

整備が続く安満遺跡公園。写真中ほどのパークセンターエリアが3月23日に開園した。手前は整備中の敷地で、右端の京大農場時代の本館建物は、レストランと遺跡を学ぶスペースに生まれ変わる。

は関西文化学術研究都市(学研都市)の開発を進めており、その一角の京都府木津川市が農場の移転先として浮上。高槻市、京都大学とURの三者で移転と跡地活用の協定が結ばれた。高槻市は農場が移転した跡地を、遺跡を活かした公園にすることを決め、URは高槻市からの要請を受け、農場跡地のうち約8ヘクタールを防災公園として整備することになった。

一方で、農場の移転を支援。「農場がまるごと移転する、かつてない引越しです。研究を途切れさせず、スムーズに移転していただくために、URは引越し先の新農場予定地において、オーダーメイドでインフラ整備を進め、社内でも綿密に連携を取りながら移転をお手伝いしていただきました」

現在、安満遺跡公園を担当するURの服部泰之は、当時をこう振り返る。

農場の移転は数年に分けて行われ、2016年から学研都市の新農場で教育・

研究が始まっている。

遺跡を守り 防災公園として機能

市とURは防災公園の整備を進めていったが、この土地ならではの苦労があったという。

「広大な土地の中で、遺跡がどのように広がっているかわからないなか、整備を進めていかざるを得ませんでした。もし重要な遺跡が見つければ、そこは史跡指定、保存の観点から、防災公園の開発に制約がかかります。その難しさがありました」と服部が言う。

実際に、雨水貯留施設を造る工事中、土の下から弥生時代の大規模な水田跡が発掘され、位置を変更するなど大きな計画変更があったという。

今年3月23日に一部が、そして21年に全面開園する「安満遺跡公園」は、多くの市民に「公園で何がしたいか」を聞き、みんながしたいことをかなえる公園、みんなで育て続ける公園にしようというコンセプトのもと、議論を交わしながら整備方針を定めていった。

「あまりつくり込まない、ハーフメイドの公園を目指しています」と話すのは、高槻市安満遺跡公園整備室の藤井敏温副主幹。それは時代やニーズに合わせて変化し、市民とともに成長する公園だ。17年には市民メンバーで組織された

「安満人倶楽部」が誕生。歴史・防災・自然・プレーパークなどいくつものテーマに分かれて、実際に公園でやってみることを実行する活動も始まっている。

3月にオープンした公園の拠点となるパークセンターエリアには、市民活動の拠点となり、人々が交流する「パークセンター」が完成。ここには多目的スタジオや工作・調理室なども設置され、ポーターランドが運営する全天候型の子どもの遊び施設もあり、家族連れでにぎわっている。

公園の一番の特徴は、緑のオープンスペースがたくさんあること。これは防災上も重要なポイントだ。加えて3日間避難者が滞在できる飲料水をまかなえる耐震性貯水槽や、公園入口にはソーラー照明を設置。今後、マンホールトイレや臨時ヘリポートを備える予定だ。

また、これまで目につけることがなかった遺跡についても、公園の中に環濠を再現し、安満遺跡の歴史を体感できるVRや出土品の展示施設をつくり、訪れる人に広く知ってもらう工夫をする。

「市民の皆さんからの期待をひしひしと感じています」と藤井さん。

高槻市、京都大学、UR、それに高槻市民の皆さんとの間にウイン・ウインの関係が生まれた今回の事業。この地に暮らした弥生人たちも、きっと喜んでいるに違いない。

URのまち

あのまち このまち
歩いてみよう! その18

東京都葛飾区 亀有駅周辺

URが手がけた土地が、時を経て、素敵なまちに育ちました。地図を手に歩いてみませんか?

	開発前	開発期間
リリオ亀有	住宅・店舗・駐車場等	1991年~1996年

0m 200m

常磐線
上野

亀有といえば...

漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」のまち!

亀有出身の作者秋本治により、週刊少年ジャンプで1976~2016年まで40年間、一度も休まず連載!

Let's Try!

「こち亀」銅像めぐり

サイズもデザインもバラエティに富んだ全15体の銅像を駅周辺に設置
①~⑮の銅像をめぐってみよう!

1 両津勘吉像



いくつかご紹介!

2006年にできた記念すべき第1号!



亀有公園のベンチでひと休み

4 ひこやすみ 両さん像

14 よつこぞこち亀の街へ! 両津中川 龍子がお出迎え! 像



連載40周年を記念して設置、初のカラ等身大銅像!

ちっちゃ〜く上司の大原部長が!

6 少年両さん像



握手もできる!

製法は企業秘密! 大人気の特製ハイポルはぜひ氷なして!

1種類4本でくると頼みすぎ注意!

色がきれい!♥

ボルシチ

東欧モルドバ料理の居酒屋

●NOROC

連日大混雑! もつ焼きの名店

江戸っ子

5

等身大の現代甲冑を取り扱い

驚きの鎧専門店!

鎧の光山堂

吉田/ペン 注文を受けてから作るコッパパンサンドの店。

フィリングはあやつ系からごはん系まで約30種

ふわふわ大きめ自慢のコッパパン

「こち亀」派出所のモデルと言われる交番。

亀有公園

3

駅前便利な複合施設!!

北口交番

2

リリオ亀有

14 (7F)

亀むら

豊富な品揃えの和洋菓子店。

6

ゆうろとサービスカウンタ

「こち亀グッズ」を各種販売!

8

葛飾 伊勢屋

「両さん」焼を販売している地元和菓子店。

9

亀有食品市場

年季の入った建物の中で八百屋と惣菜店が営業。

11

新鮮・激安野菜と果物が山積み!

リリオ館

UR×葛飾区×民間企業 7Fに公民連携の新しい風が!

いっちょやってみよう! ミッカ!

楽しいこと ミッカ!

絵と言葉のライブラリー ミッカ

子どものための小さな図書館。ワクワクするしかけがいっぱい、ワークショップやイベントもいっぱい!

注意! 大人だけでは入れません。

オリジナルの分類方法が面白い!

絵と言葉でできた本がたくさん(貸し出しはナシ)

1276年から続く亀有の鎮守 亀有香取神社

亀と両さんがいっぱい!

オリジナル案内板

巨大ショッピングモール アリオ亀有

こち亀ゲームぱく(3F) こち亀ワールド満載のゲームセンター!

中まで忠実に再現!

宿場町・亀有

かつてはここを渡り舟が往来。

歌川広重の「名所江戸百景」にも描かれている。

「築後約20年のリリオ館と、亀有駅前を改めて元気にしたい」の思いを込めてリノベーション!

自分の好きなことに夢中なおもしろ大人と子どもが出会う、触れあおう。

赤い内装のシアターでは毎日イベントが

豊富な画材で思いっきり図画工作!

快適なソファで読書したり遊んだり

ぬれでも大丈夫なファブリック

7F・ミッカのおとなりは... レストランマ

店頭で毎日精米!

厳選素材の定食が自慢。

ミッカで見つけたワクワクが、将来進む道に迷った時の子どもたちの拠り所となるようにと考えながら日々自分もワクワクしています。

「こち亀」まんがと地元史と観光案内をリンクさせて網羅

ピスタチオ×いちご! 大人気の「ピクシー」

ぱく内に「こち亀」派出所が!

絵と言葉のライブラリーミッカ 館長 山本 曜子さん

かつてはここを渡り舟が往来。

歌川広重の「名所江戸百景」にも描かれている。

亀有史

最初は「亀無(楽)」だった亀有

地形が亀の甲羅の形を成すような、小高い丘状だったため「かめなし」とされていたが、縁起のいい生き物の亀が「なし」はよくないと、江戸時代初期に「亀有」に改められた。

亀有史

南北総延長約3km!

春は花見、夏は水遊びでにぎわう

亀有史

亀有生まれ・亀有育ちです

「こち亀」ファンの皆さんが、全国や台湾などの海外からたくさんいらっしゃるようになりましたが、住みやすさはずっと変わりません。

ゆうろとサービスカウンタ 宇佐見くるみさん

亀有史

江戸時代の鷹場・亀有

亀有を含む葛西近辺は、鷹狩の獲物が多く、鷹場に指定され、徳川家康や家光、吉宗などが訪れた。

亀有史

宿場町・亀有

古くから武蔵国と下総・常陸方面とをつなぐ街道の宿場町として栄えてきた

亀有史

かつてはここを渡り舟が往来。

歌川広重の「名所江戸百景」にも描かれている。



宮城県
石巻市 河南農村環境改善センター
総監督としては最後の訪問に
横山由依ら6名が踊り歌う

参加メンバー

小栗有以	AKB48	山内瑞葵	AKB48
高橋朱里	AKB48	横山由依	AKB48
村山彩希	AKB48	山本彩加	NMB48



岩手県
大槌町 文化交流センター
第1回訪問地の大槌町で
柏木由紀らが献花・黙とう

参加メンバー

柏木由紀	AKB48
込山榛香	AKB48
佐藤七海	AKB48
向井地美音	AKB48
末永桜花	SKE48
荻野由佳	NGT48



3月23日、宮古―釜石間が開業したことで、久慈駅から盛駅(大船渡市)までの南北がつながった。それを記念して陸中山田駅前で行われたイベントに参加したAKB48「誰かのために」プロジェクト被災地訪問は、実に70回目となる。AKB、SKE、HKTから集まった7名がライブを



繰り広げ、その後は記念列車のお出迎えやお見送りをし、集まった人たちと喜びを分かち合った。後藤萌咲は「山田町のジオラマ制作のリーダーの一人なので、もっと盛り上げなきゃいけないと思います」と話す。鉄道再開に先駆けて、3月2日にはメンバーが3カ所を訪問(69回目)。宮城

届け！
笑顔
第4回

AKB48
「誰かのために」プロジェクト
東北復興支援
岩手県
山田町 陸中山田駅前
三陸鉄道リアス線開通
運行再開で笑顔が炸裂



福島県
南相馬市 浮舟文化会館
卒業間近の小嶋真子ら6名
歌と踊りと笑顔をお届けした

参加メンバー

岡田奈々	AKB48
岡部麟	AKB48
小嶋真子	AKB48
峯岸みなみ	AKB48
本村碧唯	HKT48
瀧野由美子	STU48



参加メンバー

松村香織	SKE48
後藤萌咲	AKB48
久保怜音	AKB48
福岡聖菜	AKB48
村山彩希	AKB48
湯本亜美	AKB48
岩花詩乃	HKT48

県石巻市、岩手県大槌町、福島県南相馬市。各地でおなじみの元気がいっぱいライブを繰り広げ、その後、慰霊碑などに献花を行った。大槌町を訪問した柏木由紀は「1回目の被災地訪問の時に来ていた男性と8年ぶりに再会。「あの時、来てくれてありがとう」と言われ、続けてきてよかった。石巻市を訪問した横山由依は「私たちができるのはライブや被災地訪問活動なのだと思う。続けていきたい」。そして南相馬市を訪問した岡田奈々は「来るたびに変化を感じます。笑顔が増えたり、震災後に生まれた子たちが遊びに来てくれたり」と語った。震災発生から8年間、ずっと被災地に笑顔をお届け続けるメンバーの活動は、まだまだ継続中である。



文・写真 高荷智也(ソナエルワークス代表)



閉じ込められる可能性がある部屋に、笛・軍手・簡易トイレ・非常食などをセットにした小箱などを設置しておく、最悪の場合に役立ちます。エレベーターなどに置かれている救急ボックスのようなイメージです。

単身世帯の防災対策

けがをしない事前の対策と救助を呼ぶ準備が肝要

平成の30年間で「単身世帯」が増えています。平成元年、単身世帯は約20%でしたが、平成29年時点で約27%。災害直後に頼れるのは自分のみという単身世帯の防災対策を考えました。

(出典:厚生労働省・国民生活基礎調査の概況:平成29年版)

大地震による負傷を回避する

事前の準備がそのまま生死につながる地震対策。特に単身者は、災害で負傷して身動きがとれなくなると、助けを呼ぶことが難しくなるため、家具の転倒、家電の移動、重量物の落下、ガラスの飛散などを防ぐ対策を徹底し、まず大地震直後の身の安全を確保することが重要です。



たかにともや
「備え・防災は日本のライフスタイル」をテーマに、自身が運営するWebサイト、各種メディアやセミナーを通じて防災を解説するフリーのアドバイザー。
「備える.jp」
<http://sonaeru.jp>

室内への閉じ込めに備えて、スマートフォンや笛を常備

単身世帯は「室内への閉じ込め」にも注意が必要です。地震で玄関ドアが歪んで開けられなくなることも多く、トイレや寝室のドアが外開きの場合は、小物の転倒や荷物の落下程度でもドアがつかえて開かなくなる可能性があります。

この状況で火災や津波が発生すると危険です。スマートフォンを常備したり、部屋に100円ショップでも購入できる笛を置くなどして、いつでも外部に助けを呼べるようにしておきましょう。

“分担できない”物資の受け取りに備えて防災備蓄を

さらに単身世帯では、“役割を分担できない”という問題があります。飲料水と食事を分担して受け取る、交代しながら物資の受け取り行列に並ぶなど、特に物を受け取る作業が困難になります。そのため非常用トイレ・飲料水・食料・日用品などの備蓄を多めに用意しておくことをおすすめします。

イカと野菜のマリネ

ボイルしたイカにセロリ、玉ネギ、にんじん、きゅうりを加え、フレンチドレッシングであえて漬けたもの。

山形風の玉こんにゃく

しょうゆ、砂糖、酒、だし汁を合わせ、玉こんにゃくとスルメイカを入れて煮込んだもの。



トマト入りのニラ玉

ミディトマト、ニラ、卵を塩こしょう、鶏ガラスープの素を使って炒めました。

今回のメインは13〜14年ほど前に某コンビニで食べて特に気に入った商品で、自分なりに想像して作ったもの。ちょく簡単で肉を炒めたら合わせ調味料を入れて30秒でできてしまう。それなのに止まらない旨さ!

男子弁当
のスヌメ!

⑫ 塩豚カルビ弁当

レモンの酸味をアクセントにブラックペッパーを効かせるのがポイント。できれば押し麦入りのごはんが合います。おかずにしたのは味が故郷でおなじみの玉こんにゃく。山形ではスルメイカを入れて煮ます。スルメイカの味が「しよんで(しみて)旨くなりませす。熱々からしを付けて楊枝を刺せば、雰囲気満点。冷蔵庫の中のミディトマトをニラ玉に加えれば、味がマイルドになり、彩りもバッチリ。

文・写真 相田幸二

1975年、山形県米沢市生まれ。現在は宮城県在住。「幸せ料理研究家」としてテレビや雑誌で活躍。『こうちゃんの簡単料理レシピ』(宝島社)シリーズは230万部を超えるダブルミリオンセラーに。ブログ「こうちゃんの簡単料理レシピ」
<http://ameblo.jp/wanwan2005/>



塩豚カルビごはん

①フライパンを熱して油はひかず、5cmほどの長さにカットした豚バラスライス(3人分で約300g)を炒めます。
②肉を両面焼いて火が通ったらあわせ調味料(水100cc、酒大さじ1、レモン汁少々、鶏ガラスープの素

大さじ1、片栗粉大さじ1/2、粗みじん切りにした長ネギ)を加えてひと煮立ちさせます。
③②の火を止めて、押し麦入りごはんの上に盛り付けます。仕上げに炒りゴマとブラックペッパーをふり、レモンをのせれば完成。

ベランダで楽しむ 四季の寄せ植え vol.8

Flower pot arrangement

文・写真 黒田健太郎

ナチュラルに花も香りも楽しめるハーブの寄せ植え

ハーブには、ラベンダーやヘリオトロープのように、香りだけでなく花も楽しめるものがあります。今回は、飾って花を楽しみながら、お茶や料理にちょっと摘んで便利に使えるハーブの寄せ植えを作りました。ハーブは種類が豊富で用途もそれぞれですが、ひと鉢に1種類ずつ植えていたら、場所をとって大変。寄せ植えが断然おすすめです。

ナチュラルな印象のバスケットを器にして、パープルとホワイトの花色を基調に爽やかに仕上げています。背の高いローズマリーを後方に配して、ヘリオトロープ2株をその手前に配して3株で芯を作り、周りに草丈の低いハーブを植え込んでいきます。

バスケットに直接土を入れるとすぐに傷んでしまうので、ビニールシートを敷いて使います。

戸外のなるべく長時間日の当たる風通しのよい場所に置き、土の表面が乾いたらたっぷりと水やりをします。次々に花を咲かせるので、忘れずに月に一度置き肥を施しましょう。

手順

芯となる3株を植えてから 周りのハーブを植えていきます

① 底になる部分に数カ所穴を開けたビニールシートをバスケットに敷き、鉢の高さの1/5程度まで赤玉土(大粒)を入れる。その上に草花用培養土を入れて元肥を混ぜておく。



ナチュラルな姿が魅力のハーブにはバスケットがよく合う。ビニールシートの代わりにゴミ袋やレジ袋を使うことも可能です。

② 鉢の奥になる位置にローズマリーを植え、その手前にヘリオトロープ(白)、右隣にヘリオトロープ(紫)を植える。



鉢の中央から後方に配置するこの3株が寄せ植えの芯となり、シルエットを形作ります。

③ 芯となる3株の周りに、背の低いハーブをDEFGHの順に植えていく。

配置図



バスケットのサイズ 24cm×27cm×高さ20cm

- A ローズマリー
- B ヘリオトロープ(白)
- C ヘリオトロープ(紫)
- D チャービル
- E チコリ
- F フレンチラベンダー
- G シルバータイム
- H キャットミント

くろだけんたろう

埼玉県生まれ。園芸店「フローラ黒田園芸」勤務。自由な発想が生み出す洗練されたスタイルの寄せ植えが熟く支持されている。新刊は「手づくりのスタンドに季節の花を 素敵に飾る小さな庭」(家の光協会)。

フローラ黒田園芸 <http://florakurodaengei.com/>



UR都市機構からのお知らせ

NEWS

MUJI×UR 団地リノベーションプロジェクト対談 「団地を舞台に考える“感じ良い暮らし” 2019」開催

MUJI×UR 団地リノベーションプロジェクトでおなじみの良品計画の金井政明会長と、UR理事の里見 晋による対談が2月に行われました。テーマは「団地を舞台に考える“感じ良い暮らし”」。団地にオープンした無印良品の店舗や、シェアキッチンを備えた形態にリニューアルした団地内集会所の話にはじまり、良品計画が

フィンランドで進めている自動運転バスのプロジェクト、野菜や魚など地方の資源の活用まで話題は多岐にわたりました。シェア、コミュニティーという団地がもつポテンシャルに加え、リユース、起業、子育てなど団地を舞台にした展開のヒントが満載。対談の詳しい内容はウェブサイトをご覧ください。



次々に話題が広がる良品計画の金井会長(左)とUR理事の里見(右)。

https://www.muji.net/ie/mujiur/conversation/con04_01.html



NEWS

渋谷の街をレゴ®ブロックでつくるワークショップが大盛況



供用開始が待ち望まれる渋谷駅東口地下広場の様子をレゴで製作した三井氏の作品。

2月16日、渋谷ヒカリエで「渋谷の街をレゴ®ブロックでつくるワークショップ」が開催されました。このイベントは、渋谷の未来を担う子どもたちに渋谷の街や駅周辺の再開発へ興味をもってもらうためのもので、渋谷駅前エリアマネジメント協議会／一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントが主催、URおよび東京急行電鉄、東急不動産が共催しました。

ワークショップは日本人初のレゴ®認定プロビルダー三井淳平氏の協力のもとで



三井氏の作品と一緒に参加者で記念撮影。

われ、「ミライのシブヤにあったらいいもの」をレゴ®ブロックを使って親子のペアが自由に製作。完成した作品は空港やお城など、子どもたちの自由な発想が光るものばかり！ URは引き続き東京急行電鉄と共同で、渋谷駅前の土地区画整理事業を進めていきます。

From Editors

「しあわせはいつもじぶんのこころがきめる」相田みつをさんの名言です。青い鳥ではありませんが、幸福は誰かから与えられるものではなく、自分が感じるもの、気がつけばそこにあるものです。

同様に災害からの復興も、被災された方々が実感して初めて、本当の意味で復興するのだと思います。

私が編集を担当したこの2年間、目に見える事実だけではなく、なるべく多くの方々からお話を伺い、お気持ちを尋ね、復興が進む様子を紙面でお伝えしてきました。『UR PRESS』のバックナンバーはWEBでもご覧いただけます。復興の現在地、皆さんはどこまで来たと思いますか？

(UR都市機構・広報担当TK)

次号のお知らせ

「UR PRESS」58号は2019年7月末発行予定です。

「UR PRESS」オンライン版もお楽しみください！

「UR PRESS」はパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。紙面にはない巻頭インタビューや記事のオリジナル動画なども掲載しています。ぜひご覧ください。

UR PRESS

で 検索

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/publication/web-urpress57/index.html>



YouTubeでもさまざまな動画がご覧いただけます

UR都市機構の公式YouTubeでは、UR賃貸住宅、都市再生、ニュータウン、震災復興など、URのさまざまな事業や情報を動画でお伝えしています。『UR PRESS』オンライン版でこれまでに紹介した動画や、テレビCMなどもアップしています。ぜひご視聴ください。

<https://www.youtube.com/user/URTOSHIKIKO/>



プレゼント付きクロスワードパズル

パズル制作 ニコリ

ヨコのカギ

- 鳴かぬなら「殺してしまえ」「鳴かせてみしよう」「鳴くまで待とう」などと言われる鳥
- 下水——情報——熱——
- 農業用水を溜めておくものもあります
- 洗面器に似てるけどもっと大きい
- コミックを描きます
- 油——塩 黒——
- 仕事の——に、お茶を飲んで一服
- お褒めの言葉を——にしてがんばります
- 一步も譲らぬ——の態度で交渉する
- カーナビの地図上には、車の——が示されます
- 忙しい日々の——に、パズルを解いて気分転換
- の味方 社会—— ——感
- 、レシーブ、トス、アタック！
- 仕事如山積み、みんなで——して片付けよう
- おやつに食べるもの
- 役目や職務。——の重さに身が引き締まる思いです

タテのカギ

- 夜空でキラキラ輝きます
- スクランブルエッグに似た和風の料理
- 藤田医科大学の新入生たちへの内覧会を行ったのは——団地
- 鴨居と天井の間にあります。彫刻が施されたものもあります
- 神社にお参りするときくぐるもの
- 成長して、芽になるところ。——米
- マスカラはこれに塗ります
- これを踏む鬼ごっこもあります
- 火と木の間の曜日
- お祭の晩にたくさん並んでいたり
- 王の妻は
- 12星座の星占いで、サソリとヤギの間。弓矢を持っています
- 手こぎの小舟。これで川下りを楽しむ人もいます
- 枯れ木も山の——
- 寝ているとき、体の下にあります
- 節約も、やり過ぎるとこう言われちゃう？

1	7	10		16		24	26
2				17	20		
	8		12		21		
3			13	18			
		11				25	
4	9			19	22		
5			14		23		27
6			15				

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

プレゼント&応募方法

クロスワードパズルを解いて、プレゼントにご応募ください。

PRESENT 1 From 熊本

Happy陣太鼓 くまモン 3名様

風味豊かな国産の大納言あずきでやわらかな求肥を包んだ、熊本土産でおなじみの「誉の陣太鼓」。くまモン特別パッケージで、食べやすいハーフサイズ9個入り。



PRESENT 2 From 熊本

米焼酎「川辺」 2名様

熊本・川辺川の伏流水と、この水で育てたお米で仕込んだ織月酒造の米焼酎。透き通るような上品な味わいが特徴です。720ml入り。



PRESENT 3 From 岩手

純米酒「酔仙」 2名様

津波で壊滅的な被害を受けながら、「美酒伝承」のために復興を遂げた岩手三陸の酔仙酒造。その米の旨味と酸味、ふくらみの調和が魅力の芳醇中口の純米酒。720ml入り。



PRESENT 4 From 宮城

純米酒 船尾灯 2名様

魚介類の味を引き立てる美酒をつくり続ける気仙沼の老舗酒造所「角星」が復興の礎になるようにとの想いを込めてつくった純米酒。すっきりとした後味。720ml入り。



PRESENT 5 From 宮城

気仙沼産熟牡蠣のオイスターソース 3名様

気仙沼産の濃厚な牡蠣から作られた、風味豊かなオイスターソース。調味料としても活躍します。



●応募方法

本誌付属の応募はがきに、クロスワードパズルの答えと希望プレゼント番号、必要事項をご記入の上、郵送してください。

※応募はがきに記載のQRコードからもご応募いただけます。

●応募締め切り

2019年7月31日(日) (当日消印有効)

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※お酒のご応募は20歳以上の方に限らせていただきます。

56号の解答

A ハ B ナ C ミ D ガ E ワ

1	オ	モ	イ	ド	オ	リ	ツ
2	ヒ	ミ	ツ		コ	ク	ハ
	タ		キ	ヨ	ワ		ツ
3	シ	ヨ	ウ	ガ		ク	シ
		ミ	チ		ウ	ラ	ヤ
4	ケ	ガ		チ	エ	ス	ズ
5	ハ	ナ	シ	カ		カ	ワ
	イ		メ	イ	ジ	イ	シ